2026 年 11 月 17 日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

Inter BEE 2026、幕張メッセにて明日 11 月 18 日開幕

AI・IP・XR から映像・音響・コンテンツビジネスまで、メディア産業の最前線が集結

62 回目となる日本最大級のメディア総合イベント、1,069 社/団体が出展



一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 新野 隆 日本電気株式会社 取締役 会長）は、2026 年 11 月 18 日(水)から 20 日(金)までの 3 日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）で「Inter BEE 2026（インタービー 2026）」を開催します。来場事前登録は公式 Web サイト（https://www.inter-bee.com/）にて受付中です。

1965 年に第 1 回を開催した Inter BEE は、放送機器の専門展示会として発展し、現在では映像・音響・照明・通信・コンテンツビジネスなどを広く包含するメディア総合イベントへと進化しました。コンテンツを「つくる（制作）」「つなぐ（伝送）」「うける（体験）」、さらにビジネスの創出までを一体的に捉え、業界や分野を越えた交流・共創を促す場となっています。

62 回目を迎える今年は、AI の進展、制作環境の IP 化・ソフトウェア化、映像表現の高度化、メディア・エンターテインメント産業のサステナビリティなど、多様な変化を捉えた展示とプログラムを展開します。

Inter BEE 2026 には、「プロオーディオ部門」「エンターテインメント/ライティング部門」「映像制作/放送関連機材部門」「メディア・ソリューション部門」の 4 部門に、国内外から 1,069 社/団体が出展します（2025 年実績：1,079 社/団体）。また、コンファレンスでは国内外の有識者や業界関係者が登壇し、最新技術や市場動向、制作現場の変革、コンテンツビジネスの展望などをテーマに 100 本以上のセッションを実施します。

■メディア産業の未来を映し出す、多彩な企画を展開

注目の特別企画「INTER BEE IGNITION × DCEXPO」では、「『現実世界』へ踏み出すAI」をテーマに、フィジカルAIやXR、メディア企業とスタートアップの共創など、先端技術が拓く新たな可能性を発信します。また、「INTER BEE MoIP」では、放送事業者や機器メーカー、IT・通信事業者などが参画しています。東京・名古屋・大阪と幕張を結ぶネットワークを使い、離れた制作拠点の設備を活用するリモート制作の実演や操作体験を行うほか、クラウド上でのMXL対応ソリューションも展示します。

コンテンツビジネス分野では、「INTER BEE MEDIA Biz」で放送に加えて映画やアニメなどの動向を取り上げ、「INTER BEE CREATIVE」では映像制作を支える最新技術やサービス、関連セッションを展開し、「INTER BEE CINEMA」では映画制作に関する最新の製品・技術や制作現場の動向を紹介します。

音響分野では「INTER BEE EXPERIENCE」でSRスピーカーやヘッドフォン、マイクロフォンなどの試聴・体験展示を展開します。「INTER BEE FORUM」では、業界の最新潮流や持続可能なメディア産業のあり方について議論します。

さらに、第3回を迎える「INTER BEE AWARD」では、先進性・独自性・将来性を評価軸に、優れた製品・サービス等を選考・表彰します。会場での最終審査を11月18日(水)に行い、同日夕方に受賞製品・サービス等を発表・表彰する予定です。

Inter BEE 2026は3日間の会期で35,000人の来場を見込んでいます。来場者数は会期終了後に発表します。

【 Inter BEE 2026 公式Webサイト: https://www.inter-bee.com/ 】

名　　称 ： Inter BEE 2026（インタービー 2026）
会　　期 ： 2026年11月18日(水) ～ 11月20日(金)
時　　間 ： 18日(水)・19日(木) 10:00～17:30 ／ 20日(金) 10:00～17:00
会　　場 ： 幕張メッセ
入　　場 ： 無料（全来場者登録入場制）
主　　催 ： 一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

最新情報および詳細は、公式Webサイトをご参照ください。
